

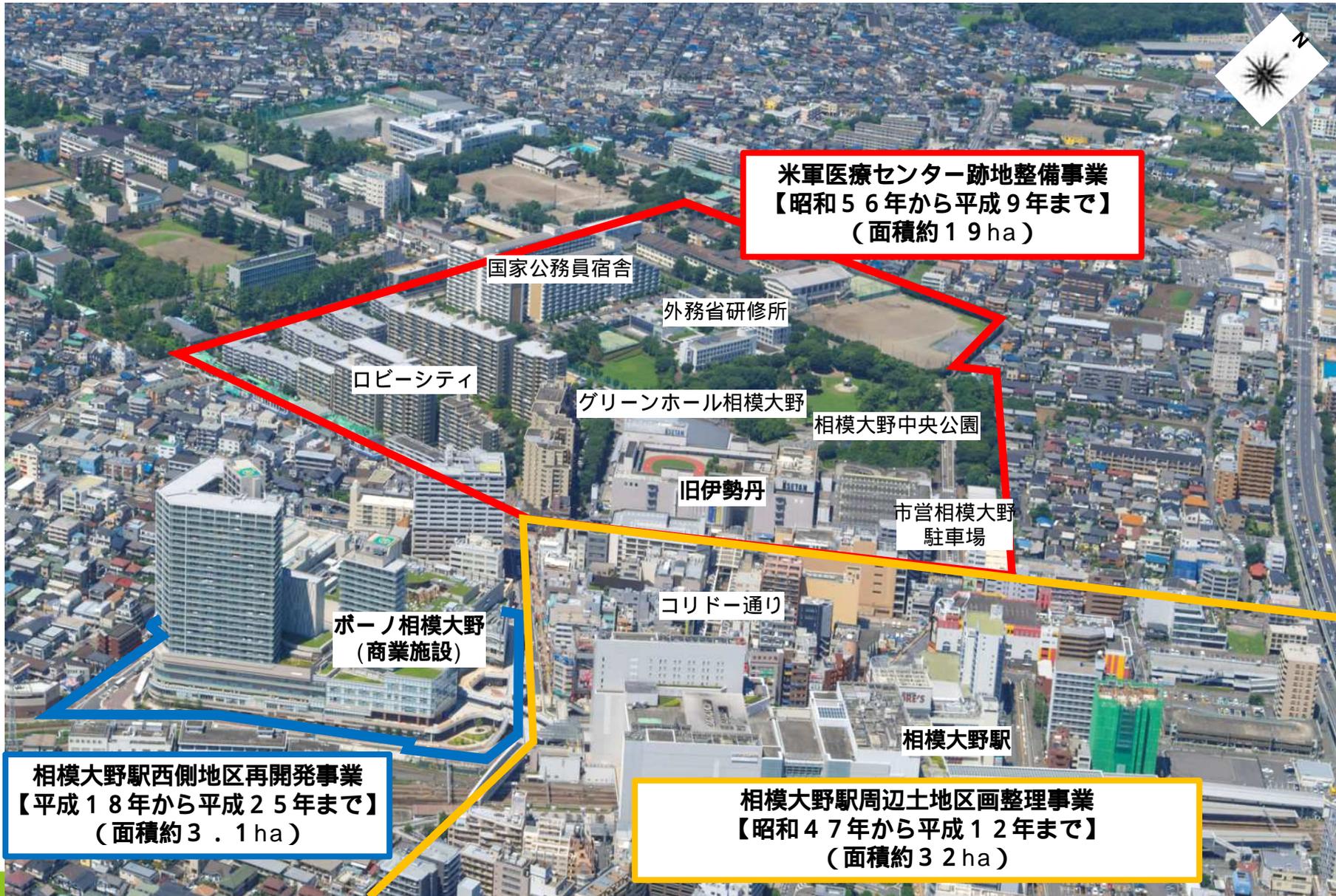
相模大野駅周辺のまちづくり

都市建設局まちづくり推進部
都市整備課



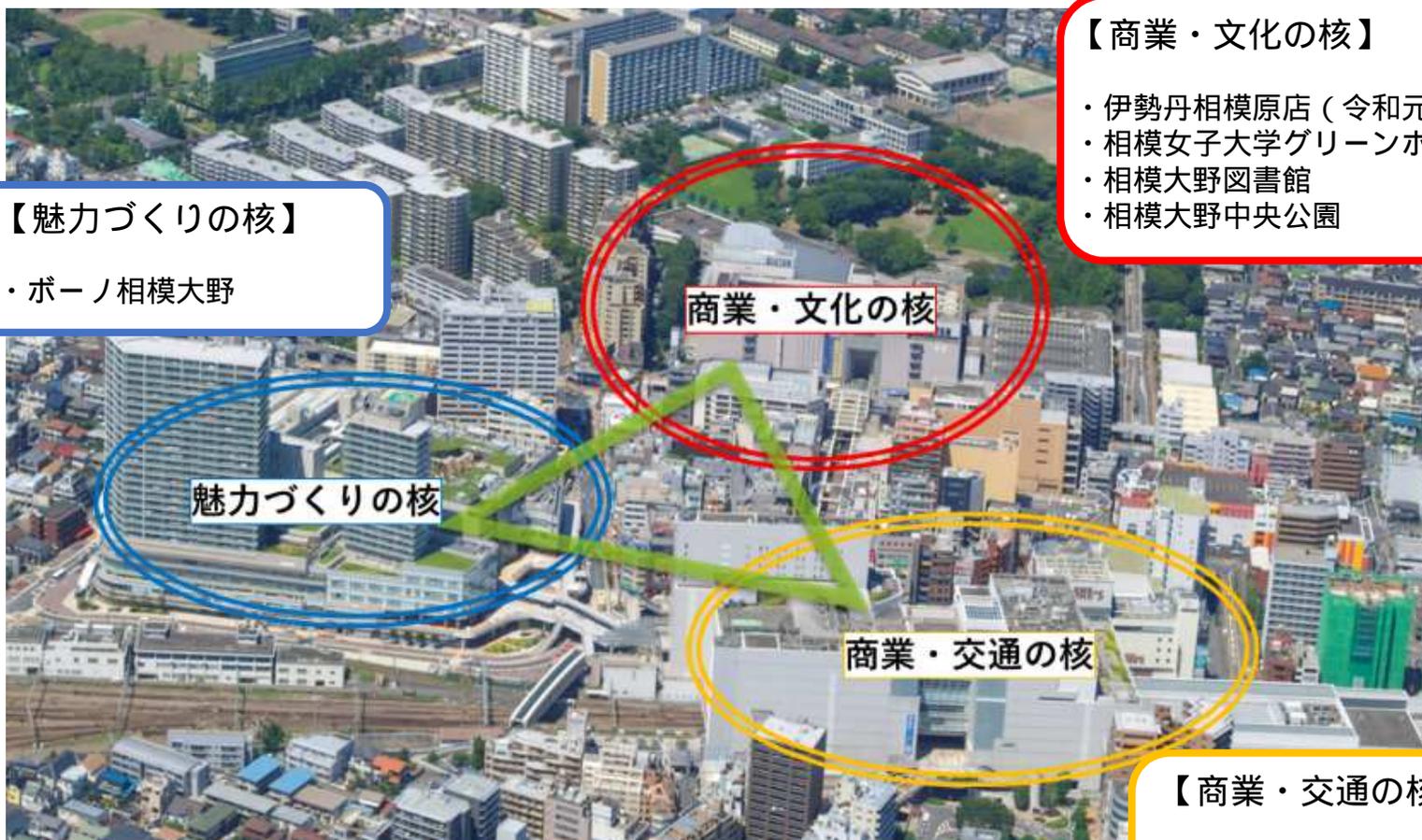
相模大野駅周辺のまちの成り立ち

相模大野駅周辺は、主に3つの事業でまちの基盤整備を進めてきました。



「さんかく」構造

相模大野駅北側のまちづくりは、3つの拠点となる「核」を配置して、まちの回遊性向上と面的な賑わいを創出する「三核構造」をまちづくりの考え方として取り組んできました。



【魅力づくりの核】

- ・ポーノ相模大野

【商業・文化の核】

- ・伊勢丹相模原店（令和元年9月閉店）
- ・相模女子大学グリーンホール
- ・相模大野図書館
- ・相模大野中央公園

商業・文化の核

魅力づくりの核

商業・交通の核

【商業・交通の核】

- ・相模大野ステーションスクエア
- ・相模大野駅
- ・駅前広場

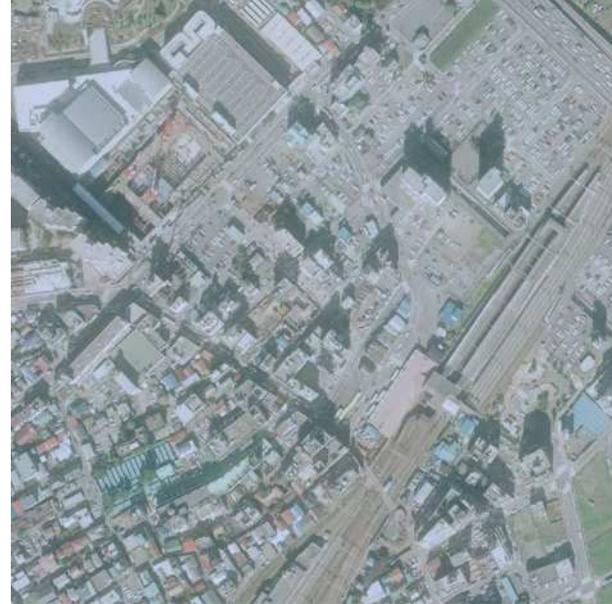
空から見る相模大野の変遷

写真出典元：国土地理院



1940 (S15) 年

- ・通信学校駅（現：相模大野駅）が開業(1938年)
- ・相模原陸軍病院（写真左側）が開設



1989 (H元) 年

- ・医療センター跡地整備事業により、旧伊勢丹相模原店（1990年開業）が建築工事中（写真左上）



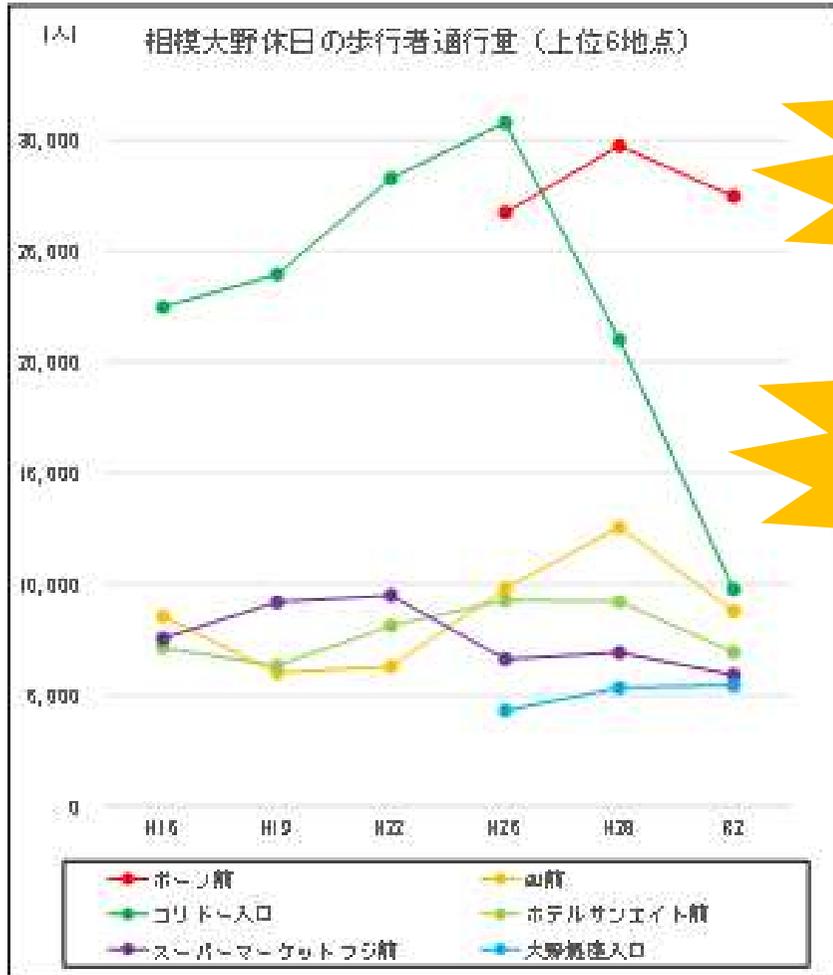
2019 (R元) 年

- ・H25に三核構造を支える都市基盤整備は完了
- ・駅周辺には、大型商業施設など中高層建築物が増加



環境や社会情勢
の変化

伊勢丹相模原店の閉店
新型コロナウイルス感染拡大
周辺都市（海老名・南町田など）の発展 など



来街者の
減少

既存施設
の老朽化

ポテンシャル

他のまちにはない魅力
(ex. 駅周辺に商業施設のほ
か公園や学校がある等)

今までのまちづくりで
整備した、誰でもアクセ
スできる公共的空間が多
数ある。

など...

これからの相模大野のまちづくり

既存の公共的空間などを活用
しながら、ソフト施策を中心
としたまちづくりを進めます。

ソフト施策のイメージ（例）

引用：国土交通省
官民連携まちづくりポータルサイト

「人が中心」の道路空間



丸の内仲通り

公園空間の新しい使い方



南池袋公園

商店街の空き店舗や空き地の活用



油津商店街

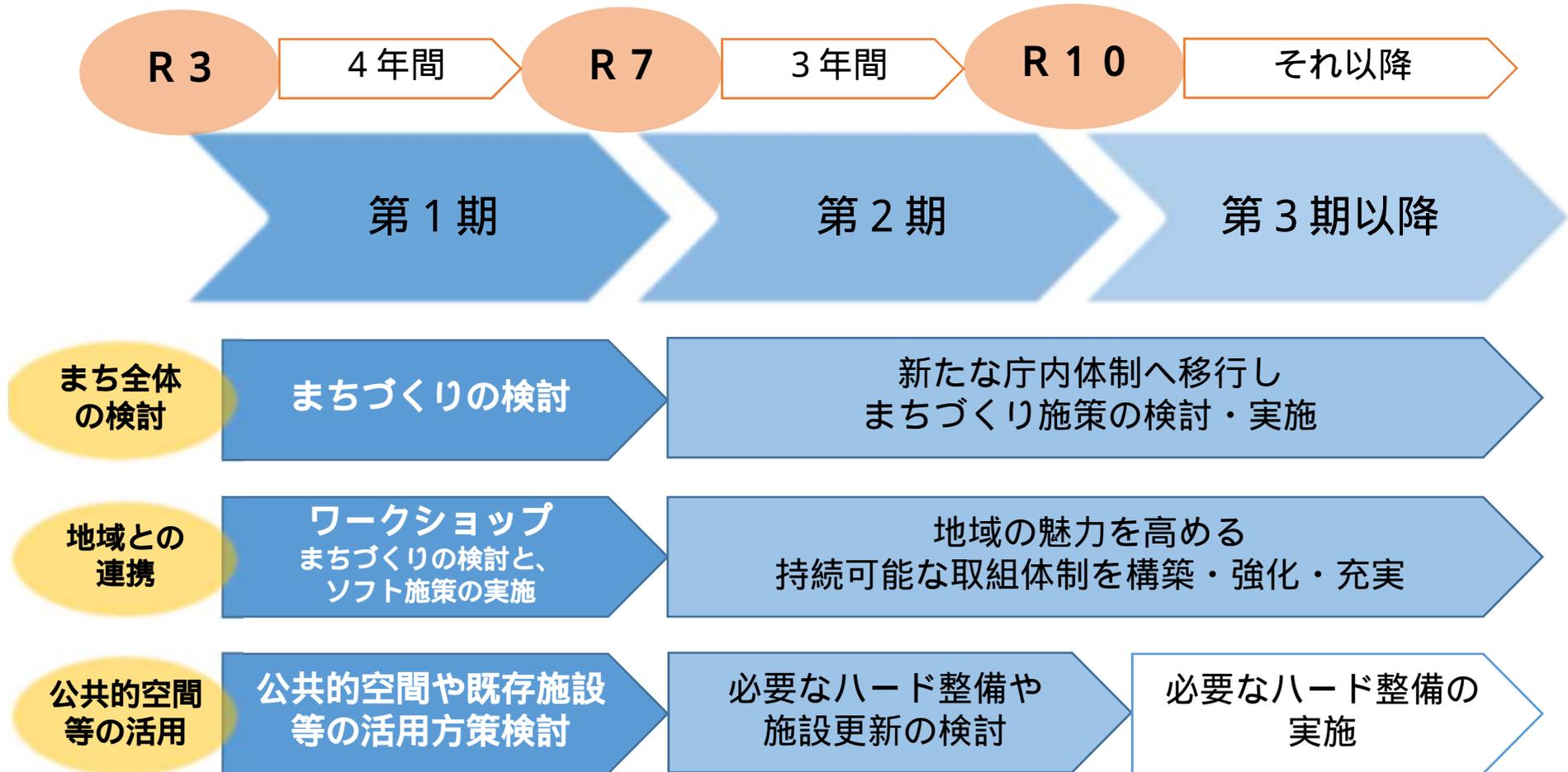
駅前広場の賑わいを創出



豊田市駅前の広場を活用したイベント

相模大野では、どのようなことができるか考えよう！

まちづくり全体のスケジュール



まちづくりに取り組む概ねの範囲

相模大野中央公園



(仮称) 相模大野4丁目計画地内広場イメージ



活用可能な公共的空間

- 相模大野中央公園【市】
- コリドー街【市】
- 北口駅前広場、サンデッキ相模大野【市】
- ポーノウォーク【市】
- ポーノ広場【民間施設】
- 駅南北自由通路【民間施設】
- 南口駅前広場【市】
- 季節の橋【市】
- 相模大野立体駐車場【市】
- 相模女子大学グリーンホール2階デッキ【市】

将来的に活用可能な公共的空間

(仮称) 相模大野4丁目計画地内広場

商店街

- A 相模大野銀座商店街振興組合
- B 相模大野北口商店会
- C 女子大通り商工振興会
- D 相模大野南新町商店街振興組合

コリドー街



ポーノ広場



ポーノウォーク



駅南北自由通路

